

科目名 (科目番号)	公衆衛生学	教員名 横山 博子	学科等	医療技術	必修	履修年次	1
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要	公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と定義されている。公衆衛生学は保健学の出発点ともいえる学問であり、その基本的技術論や方法論について学習し、年齢階層や社会的機能集団の各次元でそれぞれの特性に合わせた視点から学ぶ。具体的には各種医療統計から各種疾病予防のための社会政策とその仕組み、公害防止対策、産業保健などについて学ぶ。						
目的・目標	目的：公衆衛生学の目的、環境と社会の視点から疾病を予防する仕組み、および具体的活動内容を理解する。 目標：①公衆衛生学の概念を理解する。②各分野の現状と法制度を把握する。 ③各種統計の意味と情報収集方法を修得する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	公衆衛生・健康・予防医学	到達目標:公衆衛生の歴史、健康の概念、予防医学の分類、WHOについて理解する。 学習内容:公衆衛生の歴史、健康の概念、予防医学の分類、WHO				
	2	人口(静態・動態)	到達目標:人口論・人口静態統計・人口動態統計・人口ピラミッドについて理解する。 学習内容:人口論・人口静態統計・人口動態統計・人口ピラミッド				
	3	疫学	到達目標:疫学的方法論(相対危険度・寄与危険度)スクリーニングについて理解する。 学習内容:疫学の概念,研究方法など				
	4	感染症と予防(1)	到達目標:感染症総論(感染症法・消毒、滅菌・流行状態)について理解する。 学習内容:感染症法・消毒、滅菌・流行状態など				
	5	感染症と予防(2)	到達目標:感染症各論(院内感染・人獣共通感染症・予防接種)について理解する。 学習内容:院内感染・人獣共通感染症・予防接種(ワクチン)など				
	6	環境衛生	到達目標:空気環境(空気・温熱)について理解する。 学習内容:空気環境(空気・温熱)				
	7	環境衛生・公害	到達目標:水質環境、廃棄物、公害(大気汚染・水質汚濁・騒音)について理解する。 学習内容:水質環境、廃棄物、公害(大気汚染・水質汚濁・騒音)				
	8	食品衛生	到達目標:栄養、食中毒について理解する。 学習内容:栄養と健康,食品安全,食品衛生など				
	9	母子保健	到達目標:周産期死亡、新生児死亡、乳児死亡、妊産婦死亡について理解する。 学習内容:母の健康,出産,新生児・乳児・小児の健康				
	10	成人保健	到達目標:生活習慣病、老人保健について理解する。 学習内容:わが国の社会福祉制度の仕組み				
	11	学校保健	到達目標:学校感染症、学校給食、学校安全について理解する。 学習内容:学校保健,学校給食,学校安全など				
	12	精神保健	到達目標:精神病、麻薬中毒、アルコール依存症、自殺について理解する。 学習内容:精神・神経疾患,精神保健福祉対策など				
	13	産業保健	到達目標:業務上疾病(職業病)について理解する。 学習内容:労働環境,労働時間,職業病など				
	14	衛生統計	到達目標:統計の基礎、応用、医療統計について理解する。 学習内容:統計の基礎、応用、医療統計				
	15	衛生行政・衛生法規	到達目標:衛生行政、社会保障、社会福祉について理解する。 学習内容:衛生行政,医療制度,社会保障・社会福祉など				
成績評価の方法・基準	授業ごとの課題(30%) + 期末試験(70%) (オンライン・対面共通)						
教科書	シンプル衛生公衆衛生学2025		辻一郎 監修		南江堂		
参考図書	国民衛生の動向		厚生労働統計協会				
教員からのメッセージ	課題に対しては、コメントをつけて授業内で返却します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						